

風鈴揺れて涼しげ

豊橋 子どもら絵付けの300個

風鈴まつりが開かれている豊橋市障害者福祉会館さくらピア（東新町）で、地元の子どもたちが絵付けした約三百個の風鈴が涼しげな音を響かせて揺れている。

市内の小学生や会館利用者が、無地の風鈴と短冊にクレヨンで思いの絵と願いを描いた。将来は豪邸に住むのが夢なのか、家の絵を描いた風鈴に「ご



ロビーにつるされた色とりどりの風鈴＝豊橋市障害者福祉会館さくらピアで

うてい」とひと言添えた短冊も。夏休みに行きたい場所や、熊本地震の被災者へ「くまモン負けないモン」と書いた応援メッセージもあった。

まつり最終日の十日の午後六時から「七夕織姫ライブ」があり、豊橋市を中心に活動するソプラノ歌手の小杉由子さんとチェンバロ奏者が演奏する。入場無料。（相沢紀衣）

平成28年7月6日（水）

中日新聞

涼やか 風鈴に願い事

豊橋市障害者福祉会館

豊橋市東新町の市障害者福祉会館「さくらピア」で10日まで、七夕風鈴まつりが開かれている。施設を利用する障害者のほか、地元旭、八町、向山の各小学



校の児童が絵付けをした風鈴約300個が涼しげな音

色を響かせている。陶器製の風鈴には、ご当地キャラクターや動物などが描かれ、「笑顔で過ごせますように」「みんな仲良く」「サッカーがうまくやりたい」など願い事が書き込まれた短冊が添えられている。

平成28年7月6日（水）

朝日新聞